

# 第47学年週刊情報誌

## 学年通信

### 48回生版

## これで2年成績は確定だ

2月19日(水)〜26日(水)の5日間、2学年最後の定期考査である『2学年本考査』が行われました。これで2年次の成績が決定します。「俺、欠点無いから余裕〜」とちょっと待てな〜

3年になったら進学にせよ就職にせよ、高校時代の努力の証として『評定平均値』という数字が重要になります。この数字は1学年末の科目評価、2学年末の科目評価、3学年1学期末の科目評価(いずれも10段階)で決まります。

これをゴニゴニと計算して出します。なので、今回の成績で、評定平均値の3分の2は決まったようなモノです。

先日の『人事部体験』でも分かった様に、進学でも就職でも、選ばれるのは『遅刻欠席が少なく、評定平均値が高い』という数字が重要になります。何かと瀬戸際の人達は、今更そのれの計画性の無さを見られても仕方ありません。やれるだけの事はやって



試験前の最後の見直しです

## 進級、お金の準備を!

キチンと授業に出席して成績を取り、ヤンチャをしなれば、もうすぐ3年生になります。という事は、新しい教科書が必要になるんですよ。選択科目によりませんが、8千円〜1万3千円程度必要になります。3月18日(火)に現金を持って学校で購入して下さいね。



お金の準備を!

### 記念品贈呈式

2月27日(木)の2限目、47回生(3年生)は卒業式の予行と合わせて、記念品贈呈式・各賞授賞式・そして同窓会入会式を行いました。48回生が先輩と会する最後の場でした。



先生から47回生へ



先生から47回生へ



先生から47回生へ



先生から47回生へ

生徒会から47回生へ「おめでとう」

次に元生徒会役員と部活動部長への感謝状贈呈。学業成績優秀者、学校長賞(ポランティア部)、皆勤賞(5名)と続き、授賞式は終了しました。

### マジ時間のマジ時間のマジ時間のマジ時間

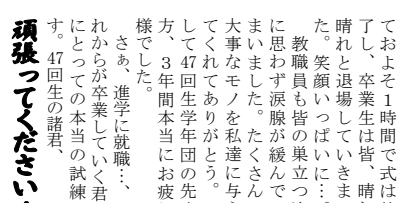
3年1組だけ退場練習です。パチパチパチ

拍手の中、会場中央を歩き、ぐるりと回って席に戻りました。48回生の参加なんてあって。1年間なんてあっという間だよ。なな、君達!

## 生命の泉イカ高湖全滅か?

デカイ鳥の襲来により一度は絶滅の危機に瀕したイカ高湖の金魚、かろうじて生き残った5匹(学年通信13号参照)が核となり、数百匹にまで繁殖に成功しました。しかし2月21日(土)、またあのデカイ鳥の襲撃を受けて...

再び静まりかえったイカ高湖、生命の息吹はどこかに隠れているのかいなのか...



雪化粧のイカ高湖

### 頑張ってきたぞ!

さあ、進学に就職!、これから卒業して、君達にとっての本当の試験です。47回生の諸君、頑張ってきたぞ!

2月28日(金)、予報に反して朝から肌寒い曇りの一日でしたが、そんな中、第47回卒業証書授与式が行われ、18名の卒業生が伊川谷高校を巣立っていきましました。

大人と子供の狭間である高校3年間、コロナ真っ只中で入学してきた47回生、当初はいろいろとガマンしなければならぬ事も多かったですが、よく耐えました。そして

この日、3年間に思いをはせ、47回生は卒業式に臨みました。

10時に式が開始されました。卒業証書授与では、各担当が自クラス生徒の呼名を行い、最後に代表1名が登壇し、卒業証書を受け取りました。次にNさんの在校生送辞の後、卒業生答辞が行われ、「3年間という長い時間、たくさんの人に支えられ」と話が続きました。そして、おおよそ1時間ですべて終了し、卒業生は皆、晴れ晴れと退場していきましました。教職員も皆の巣立っ姿に思わず涙腺が緩んでしまっていました。たくさんの大事なものをお返しして47回生学年団の先生方、3年間本当にお疲れ様でした。

### 天性人語48+h

『大人の階段』昭和生まれの人には懐かしい響きではないだろうか。あだち充の『タッチ』と並ぶ代表作『みゆき』、そのエンディング曲『思い出がいつばい』。出てくる言葉で、『大人の階段昇るよ』は卒業ソングや合唱コンクールの定番として多くの人に歌われた。『そうなのさ』、人はある日急に大人になるのではなく、様々な経験を積む事によって、少しずつ人は大人になっていくのだ。まるで階段を昇っていく様に。成人の日という区切りはあるが、その日を境に何かが変わる訳ではない。長い時間と共に、少しずつ、少しずつ...

▼47回生が卒業した。高校卒業も、長い人生の中では大人の階段の一段に過ぎない。それでも卒業生達は、確実にこの階段を一段昇つた事になる。こうやって、長い人生、一段一段と噛みしめながら皆、大人の階段を昇っていくのだ。▼因みに、『階段をのぼる』の漢字は一般的には『上る』が使われる。しかし、『思い出がいつばい』の歌詞は『昇る』である。実は『昇る』には、『空や天に向かう』という意味がある。なので、『上る』を使わずにあえて『昇る』を使ったのである。▼このコラムを書きながら、頭には男性デュオH2Oが歌う『思い出がいつばい』が響いている。でもH2Oって、いつも肝心のサビで音程はずすんだよね...

(福田)

## 第47回卒業証書授与式挙行政



- ### 式次第
- 開式の辞
  - 国歌斉唱
  - 卒業証書授与
  - 学校長式辞
  - 来賓祝辞
  - 来賓紹介
  - 祝電祝詞披露
  - 在校生代表送辞
  - 卒業生代表答辞
  - 校歌斉唱
  - 閉式の辞

# 可能性

それは、伊川谷高校にたくさん溢れてます  
皆の笑顔と共に... 伊川谷高校

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生  
発行所 〒651-2104  
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5  
県立伊川谷高校 印刷室  
電話 代表 078-974-5630  
FAX 078-974-5631  
https://www.2hyogo-cad.jp/web/2/ikawadai-hs

### 紙面から

これで2年成績確定だ  
記念品贈呈式 & 授賞式  
第47回卒業式挙行政  
生命の泉全滅か?  
語学研修記(前編)

兵庫県立伊川谷高等学校  
校歌(3番)  
作詞 黒部 亨  
作曲 岡村 健治

見はるかす 鉄道の道は 遠くとも  
われらに自主の 誇りあり  
眼あけ たくましく  
あすの世紀に羽ばたくところ  
なつかし母校 伊川谷高校

笑顔・夢  
学年キャッチフレーズ  
笑顔・夢  
校訓 自主協同

